

新規・継続	継続	事業コード	6 - 2 - 2 - ①	事業名	農産物等ブランドの振興				
所管課	市民活動部		産業振興課	関連課					
事業目標	新鮮で安全・安心な生産者の顔が見える農産物を供給するため、環境に配慮した農業の継続を積極的に支援します。また、生産者やJAさがみ鎌倉地区運営委員会事務局と連携し、農業振興に取り組みます。								
特記事項									
事業工程	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	事業費推計(千円)				
	鎌倉ブランド会議の運営 植木剪定材堆肥の利用 ブランド力向上の検討	鎌倉ブランド会議の運営 植木剪定材堆肥の利用 ブランド力向上の検討	鎌倉ブランド会議の運営 植木剪定材堆肥の利用 ブランド力向上の検討	鎌倉ブランド会議の運営 植木剪定材堆肥の利用 ブランド力向上の検討	政策	9,240			
					経常	10,000			
					合計	19,240			
予算額(千円)	4,810	4,310			9,120				
事業実績	鎌倉ブランド会議の運営 ブランド力向上の検討	鎌倉ブランド会議の運営 植木剪定材堆肥の利用 ブランド力向上の検討			/				
決算額(千円)	2,500	3,127							
具体的(数値)期間目標	鎌倉ブランドマークの商標登録を機に全ての販売農家の鎌倉ブランド会議への登録とブランド力向上に向けた「環境にやさしい農業」などを登録農家で実践します。また、市民意識調査の「鎌倉ブランド農水産物の認知度」を71%以上にします。								
期間目標に対する達成率	90%	90%			/				
協働の相手方	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 自治・町内会 <input type="checkbox"/> その他()								
事業履歴備考	/								
事業実績(詳細)									
平成24年度	鎌倉ブランドマークの一層の定着を図るため、PRや販売促進活動に取り組むと共に、その運用管理についての協議を行いました。水産物のブランド化についても、漁業協同組合との協議を始めました。 鎌倉ブランド堆肥の放射性物質の検査結果は、暫定許容値以下でしたが、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による影響を配慮し、平成23年度に引き続き、平成24年度も作成・使用を中止しました。 また、農業振興補助金によるJAさがみ鎌倉地区運営委員会の農業振興事業への支援を継続しました。				補正・流用・繰越の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 補正減: 1,155千円				
平成25年度	鎌倉ブランド農産物部会とブランドの運用管理についての協議を行いました。 鎌倉ブランド堆肥を作成、鎌倉ブランド農産物部会へ販売しました。 また、農業振興補助金によるJAさがみ鎌倉地区運営委員会の農業振興事業への支援を継続しました。				補正・流用・繰越の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
平成26年度					補正・流用・繰越の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
平成27年度					補正・流用・繰越の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				